

# 令和3年度 事業計画

## 社会福祉法人 中山梅寿会

### 【施設部門】

- ・指定介護老人福祉施設 なかやま幸梅園
- ・指定短期入所生活介護・介護予防事業所 なかやま幸梅園
- ・短期入所生活介護・介護予防事業所 野中

### 【デイサービス部門】

- ・指定通所介護・介護予防事業所 なかやま幸梅園
- ・指定通所介護・介護予防事業所 佐礼谷
- ・指定通所介護・介護予防事業所 野中

### 【在宅部門】

- ・指定居宅介護支援事業所 なかやま幸梅園
- ・在宅介護支援センター なかやま幸梅園

### 【ケアハウス部門】

- ・ケアハウス なかやま幸梅園

### 【障がい部門】

- ・地域活動支援センター くりのみ
- ・指定相談支援事業所 くりのみ

### 【調理部門】

- ・なかやま幸梅園 厨房

### 【看護部門】

## 【基本理念】

# 日本一あったかいホームを目指します

## 【基本方針】

### 1 個人の尊厳

一人の人間としての個性、主体性、可能性を尊重しかけがえのない存在として大切にします

### 2 信頼性、安全性、安心感の確保

職員自らの専門的役割を自覚し、資質の向上を図ることによりサービスを充実し、信頼性を高めるとともに利用者の安全を守り安心して暮らすことができる環境の確保に努めます

### 3 地域との連携

地域との交流、連携を通じ、地域福祉の拠点として共に支えあう社会の構築を目指します

## 【心構え】

- あいさつをしよう
- 思いやりの気持ちをしっかり持とう
- 入居者、利用者への言葉遣いに気をつけよう
- 自分の価値観を押し付けないようにしよう
- 中山梅寿会職員として責任ある行動をとろう

## 【運営方針】

### 1 個別援助

- ① 基本的な生活にかかせない3大介護「食事」・「排泄」・「入浴」において、個別ケアに取り組み、当たり前の生活と一人ひとりの生活習慣を大切にした支援を行う。
- ② 利用者の心身状況及び生活課題等のニーズを把握すると共に、各関係機関等と連携を図りながら、利用者及び家族の希望に沿った安心できるサービスを提供する。

### 2 機能訓練

- ① 利用者の自立を支援し、機能の維持向上を図るため、機能訓練を計画的かつ、継続的に実施する。
- ② 利用者が有する能力を最大限活用しながら意欲的に活動できる訓練プログラムの開発及び、アクティビティ（集団的に行われるレクリエーション、創作活動等の機能訓練）の機能強化を図る。

### 3 健康管理

- ① 利用者の心身状況を確認し、本人及び家族、医療機関と連携を図り、健康維持に努める。生活環境の変化による体調不良、混乱を防止するために、必要な健康管理体制を整え、適切な対応を行う。
- ② また、感染症については、感染症マニュアルに沿った適切な対応を行う。

### 4 医療的サポート

- ① 利用者の健康に対する不安を取り除き、安心して過ごせるよう、看護・介護が一体となって、本人及び家族、医療機関等と連携を図り、健康管理を行う。

### 5 環境整備

- ① 生活場所の変化による混乱が生じる可能性があることを説明し、情報収集することにより、できる限り在宅生活に近い環境の整備を行う。また、利用に際しては、事業所での居室環境について説明を行い、同意を得る。

### 6 リスク管理

- ① 利用者が安全に過ごせるよう事故予防に努め、事故発生時の適切な対応及び再発防止を行う。

## 7 防災対策

- ① 火災をはじめ、地震、風水害等災害の発生に備え、緊急時における利用者の生命と安全を確保するため、自主防災活動及び、地域防災組織との連携強化を図る。

## 8 職員教育と連携

- ① 質の高いサービスを提供するために、自己研鑽に努め、資質の向上を図る。
- ② 医療と介護の継ぎ目のないサービスを効果的に利用できるような観点から、入院時や退院・退所時に病院等と連絡を取り合い、利用者に関する情報共有を行う。また、障がい福祉サービスの利用者が、介護保険に移行する時やその後も家族を含めた適切なケアプランが作成できるように、障がい福祉制度の相談支援専門員との連携に努める。

## 9 地域交流

- ① 地域における行事等への参加や、地区住民との交流、ボランティア等の受け入れを通じて、地域コミュニティ機能の充実を図る。

## 10 地域貢献

- ① 関係機関と連携して、地域社会の中で生活していくための課題を発見し、地域における様々なニーズに柔軟に対応していく。
- ② 地域の一員である自覚を持ち、理解と信頼が得られるように努めると共に、地域福祉（障害）の拠点として開かれた施設を目指す。
- ③ 日頃から地域との関係作りに努め、民生委員、高齢者見守り委員、地域住民との交流を持ち、各事業所が協力しながら地域貢献を行う。

## 【法人目標】

1. コンプライアンスの徹底を図り、健全な社会福祉法人を継続する。
2. 利用者に対し人権尊重を基本に、サービスの質の向上を図る。
3. 身体拘束ゼロ運動の促進、リスクマネジメント等に積極的に取り組み、利用者また家族との信頼関係の強化を図り、処遇の向上に努める。
4. 各事業所のサービス利用者の満足度を高める取り組みを継続し、利用者増加に繋げ、経営の安定を図る。
5. 地域から「なにを必要」とされているのか情報収集し、行政と連携を図り地域福祉の推進及び公益的な取り組みを行う。
6. 将来的な経営資源(ヒト・モノ・カネ)を把握して収支の良化を図る。
7. 業務のIT化と介護・福祉用具、ロボット機器等の導入を推進し、若い世代からシニア世代(60歳以上)まで、介護現場で輝ける環境を整え、業務の負担を軽減することにより離職者を低減する。また人材の確保に向け、各種情報サービスを見極めて利用する。
8. コロナウイルスとうまく共存しながら、新たなサービスを提案・提供する。
9. 地域各種組織との連携を図り、各事業所の災害・防犯対策を強化する。

## 【部門別目標及び事業所別 年度取り組み】

### 施設部門

#### 【特養目標】 利用者の笑顔あふれる施設づくり

##### 指定介護老人福祉施設 なかやま幸梅園 （定員：30名）

- ① 入居率99.0%以上の達成
- ② 個別ケアの機能強化を図る為に、定期的なアセスメント及び、プラン実施状況の確認、モニタリング（評価）を踏まえての計画の見直し等、PDCAに沿ったサービス提供を行うと共に、不適切ケアの解消に取り組む。
- ③ 引き続き、ノーリフティングケアに関する安全性や業務の効率化に向けた検証を行い、更なる安全運用及び、業務の適正化を目指す。
- ④ 入居者全体の重度化や容態の急変等、医療ニーズが多様化する中で、日頃からの健康把握や僅かな状態変化への対応及び、ターミナル期における介護との連携強化を図る。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、家族や地域住民等との交流の機会を確保し、併せて家族会活動の推進及び、機能強化を目指す。

#### 【短期入所共通目標】 在宅生活維持に向けた適切なサービス提供

- ✧ 利用者一人ひとりが安心して在宅生活が継続できるようサービスを提供する。
- ✧ 心身状態や介護方法等の情報を共有し、希望に沿ったサービス提供に繋げる。
- ✧ 医療依存度の高い利用者への適切なサービス提供体制の構築を図る。
- ✧ 災害時に的確な判断で迅速な行動がとれるよう統一した認識と防災意識を深める。

##### 指定短期入所生活介護・介護予防事業所 なかやま幸梅園 （定員：10名）

- ① 稼働率目標 97%
- ② 居宅サービス計画を基本として、日常生活の様子や健康状態を観察しながら、生活課題に対するケアを中心に生活機能の維持、向上に繋がるサービスを提供する。
- ③ 医療の関りが強い状態やターミナル期等の利用希望に対して主治医等と連携しながら幅広く受入れを行い地域の福祉施設としての機能の推進を図る。

##### 基準該当短期入所生活介護・介護予防事業所 野中 （定員：6名）

- ① 稼働率の目標 97%
- ② 夜間帯の様子など、生活全般について細かく観察することで、認知症等をはじめとする様々な生活課題に対して、ケアの検討や環境整備等に取り組み精神安定を図る。
- ③ 慣れた環境で安心して生活ができるよう、併設している通所介護事業所と一体的にサービスを提供する。

## デイサービス部門

【デイ共通目標】身体機能の維持・改善、利用者の笑顔あふれるデイサービスへ

- ◇ 利用者一人一人の特性等に合わせたサービスの提供をする。
- ◇ 地域住民との交流を図り、地域との「なじみの関係」を築いていく。
- ◇ 災害時に的確な判断で迅速な行動がとれるよう統一した認識と防災意識を深める。
- ◇ 施設内外の研修に参加し、職員のスキルアップに努める。

### 指定通所介護事業所・介護予防事業所 幸梅園 (定員：30名)

- ① 利用者数の目標 延べ650人/月 1日の平均利用者数 24.9人(稼働日：313日)
- ② 利用者の重度化、介護ニーズの多様化に対応するため、サービス内容について検討し、個々に合ったケアを実施する。
- ③ 関係機関と連携をとりながら、自立した生活を営むことができるよう必要に応じた機能訓練を実施する。
- ④ 事業所独自の勉強会や、各種研修会へ積極的に参加することにより、職員個々の知識及び技術の向上と共有を図り、利用者が安心してサービスを利用できるよう質の向上に努める。

### 地域密着型通所介護事業所・介護予防事業所 佐礼谷 (定員：18名)

- ① 利用者数の目標 延べ320人/月 1日の平均利用者数 12.3人(稼働日：313日)
- ② 地域の医療機関と連携強化を図り、在宅生活が継続できるよう支援する。
- ③ 利用者の生活歴や馴染みの関係を活かしたアクティビティを行う。

### 地域密着型通所介護事業所・介護予防事業所 野中 (定員：16名)

- ① 利用者数の目標 延べ310人/月 1日の平均利用者数 10.2人(稼働日：365日)
- ② 住み慣れた地域での生活が維持できるよう、小規模事業所である利点を活かし、個人との関りを増やすことで、個別の対応に繋げ、日常生活動作の向上を図る。
- ③ 地域密着型施設の特性を活かし、季節ごとの地域の社会資源を積極的に取り入れて社会交流の機会を多く提供する。

## 在宅部門

【居宅目標】居宅サービスの計画充実と評価

- ◇ 利用者・家族が今まで通り安心してサービスが利用できるように、介護保険改正に適切に対応する。
- ◇ 達成度を毎月評価し、計画見直しが必要な場合には担当者会議へ繋げる。

### 指定居宅介護支援事業所 なかやま幸梅園

- ① その人らしい生活ができるようにケアプランを作成する。
- ② 状況変化に合わせてアセスメントを作成し、評価や記録を確実に行う。
- ③ ターミナルの支援についてのマニュアルを作成する。

## 【在支目標】 相談窓口と地域支援の充実

- ✧ 伊予市地域包括支援センターの窓口機関の委託を受け、中山町において支援を必要とする高齢者及び家族などの相談に対応し、必要に応じて関係機関との連絡調整や適切なサービスに繋げる等の支援を行う。
- ✧ 地域ケア会議、一般介護予防、家族介護教室、認知症相談、高齢者配食サービス事業、自主事業「がんばる会」などの支援及び実施する。

## 在宅介護支援センター なかやま幸梅園

- ① 中山コミュニティセンターの指定管理について、必要に応じて説明や情報発信を行うなど、地域住民が利用しやすい管理体制の構築を図る。また、月 4 回以上、介護予防に関する教室を行い知識の普及啓発、交流の場づくりに努める。
- ② 自主事業がんばる会、配食サービスについては、事業の認知度向上に繋がるよう情報発信に取り組む。新規利用者 10 名増加を目標とする。
- ③ 一般介護予防事業について、サロン等の地域における自主的な介護予防活動を支援する。また、自主グループの結成に向けて地域住民と連携をとりながら検討する。

## ケアハウス部門

### 【ケアハウス目標】 ケアハウスでの自立生活支援強化

- ✧ ケアハウスでの自立生活が営めるよう、定期的に関係機関と連携を図り、自立支援に向けた体制づくりに努める。必要に応じて各種福祉サービス等を導入し、住み慣れた地域での生活が継続できるよう支援を行う。
- ✧ 適宜、入居者の状態及び状況を確認し、体調変化等の早期発見と対応を図る。

## ケアハウス なかやま幸梅園 (定員：15名)

- ① 空室発生時には迅速に入居の手続きができるよう、定期的に入居待機者の入居希望及び、状態の把握に努める。関係機関と迅速に連携を図り、年間通じて入居率 100%を目標とする。
- ② 入居者自身が服薬管理できるよう適切な環境整備を行う。確実に服薬管理ができるよう適宜確認を行い、必要に応じて職員が服薬管理及び、服薬確認を行う。
- ③ 入居者との面談を適宜実施し、個々の課題及びニーズに沿った支援計画を作成し、その人らしい生活が継続できるよう支援する。
- ④ 園芸活動や運動レク等の拡充を図り、コロナ禍の影響等によるストレスの緩和、日々の楽しみや生きがいの創設に繋げる。
- ⑤ 毎日の検温、体調確認を行い、異常の早期発見に努める。異常時には迅速に関係機関と連携を図り必要な対応を行う。



## 障がい部門

### 【くりのみ目標】 障害福祉サービスの充実

- ◇ 地域活動支援センターとして、基礎的事業と強化事業を通じた社会参加の機会と居場所として機能を担う。また、交流会やバザーを通じた住民との交流や事業の啓発、地域貢献をする。
- ◇ 一般相談、障害児相談支援、特定相談、地域移行、地域定着等の提供。ライフステージに合わせ、その人が希望する生活に近づくよう必要なサービスの提供や制度の利用支援を行う。
- ◇ 伊予市障がい者計画・伊予市障がい福祉計画・障がい児福祉計画の推進に寄与する。

### 地域活動支援センター くりのみ

- ① 令和3年度中に登録者が1名減となる予定。年間利用者 2300 人を切らないように、通常の活動に参加しない利用者が参加できる活動を考える。利用者や協力者が増えるよう、アートを通して事業所の活動を啓発する。
- ② 75歳に達する利用者が最後まで通所できるよう支援する。また関係機関と連携し、その後のフォロー体制を検討する。
- ③ 他のサービスを利用している人に関しては、関係機関からの情報を取り入れながらミーティングを実施する。

### 指定相談支援事業所 くりのみ

- ① 相談支援専門員の体制が変更になるため、各々の訪問と地活の送迎が重ならないように相談員同士がスケジュールの調整をする。また、相談支援専門員を育成する中で事業所の課題を見直す。
- ② 令和4年度障害者総合支援法の報酬改正に向けて情報収集する。
- ③ 市内の療育サービスが不足しているため、教育・子育て支援課と協力し、療育が必要な児童も地域で活動できる方法を検討する。

## 調理部門

### 【厨房目標】 喜びのある美味しい食事の提供と栄養ケアマネジメントの実施

- ◇ 行事食・イベント食を計画的に実施し充実を図る。
- ◇ 入居者1人1人の状態を把握し、課題を早急に見つけ、また他職種と共同し施設ケアプランに基づき、栄養ケアマネジメントを実践し評価、判定を定期的に行う。

### 総合福祉施設 なかやま幸梅園 厨房

- ① 季節のものや行事食、地元で親しまれている食材を取り入れ、利用者個々に食べる喜びを引き出し維持・向上できるように、食事内容の工夫を心掛ける。
- ② 厨房会を定期的開催し、より良い食事の提供が出来るように食事委員会とも連携して意見交換や食事に関わる連絡調整を行う。
- ③ 自然災害時に備え、利用者・職員を含む非常食のメニューに沿った備蓄品を確保する共に、消費期限をチェックし、在庫管理を行う。

## 看護部門

### 【看護目標】健康観察と医療支援の充実

#### 法人全体看護

- ① 入居者により良い医療支援が提供できるように、日常生活の中で健康観察を行い、日々の小さな変化を見落とさず早期に異常を発見する。異常時には、嘱託医に報告・相談し的確な判断のもと、早期治療が行えるように家族を含め支援を行う。
- ② ショートステイ・デイサービス等、利用者には、家族・担当介護支援専門員等と連携をとり、安心してサービス利用できるよう支援を行う。また、緊急時には家族、主治医と連携し、スムーズな対応が行えるように支援を行う。
- ③ 職員の健康管理、感染対策などの助言、アドバイスをを行い健康で継続的に就業できる支援を行う。
- ④ 感染症等に関する早期情報収集と共有、ならびに関係機関との連携をスムーズに行うことで利用者、職員等を支援する。
- ⑤ 服薬管理を徹底し、疾病の悪化予防及び医療面でのサポートなどを行う。